



大和の誇りを取り戻そう

日本文明を創造した^{あめの み おやがみ}天御祖神

記紀をはじめとする日本神話によれば、日本の歴史は3千年あまりとされています。しかし、日本には高い精神性があり、もっと古い歴史があると指摘する人もいます(岡潔氏)。建国記念の日に、日本の精神性のルーツと本当の「建国の精神」について考えてみませんか。



幸福実現党
党首 釈量子

政治には価値観を教える「正しい宗教」が必要



日本の政治は「何が正しいか」を議論するのではなく、「空気の支配」で善悪を曖昧にしていく傾向があります。例えば中国の人権問題について、アメリカ議会では党派を超えて非難決議が出ますが、日本では「中国を刺激してはいけない」という理由で明確に非難の意思を表明することはありません。

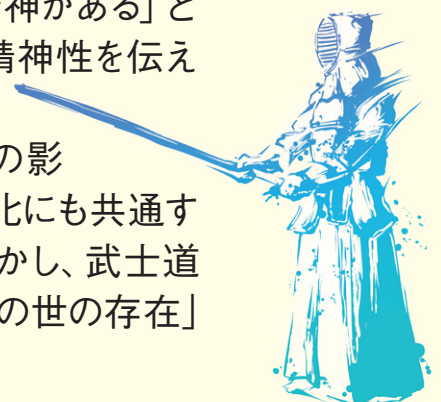
日本は長らく宗教を日陰の存在に押し込んできたことで「善悪の価値基準」が曖昧です。そもそも、日本における宗教は「価値基準」が明確ではありません。その理由として、日本には創造神がないからだと言及する学者もいます。国の進路を見失わないためには、価値観を教える正しい宗教が必要なのです。

世界から尊敬される日本の「武士道精神」



日本の武士道精神は世界から尊敬を受けています。新渡戸稲造は、留学先のドイツで「体系的な宗教教育のない日本では何に基づいて善悪を判断するのか」と問われ、「日本では正義、慈悲、礼儀、忠義の心などを伝えてきた倫理・道德規範として武士道精神がある」として、『武士道』を著しました。これは日本の精神性を伝える書物として欧米で広く読まれました。

新渡戸は「武士道」は仏教、神道、儒教などの影響を受けて次第に成立してきており、西欧文化にも共通する普遍性の高いものだと言及しています。しかし、武士道精神のルーツをたどると、神道や儒教では十分に教えていない「あの世の存在」「霊的人生観」などの深遠なるものがあるのです。



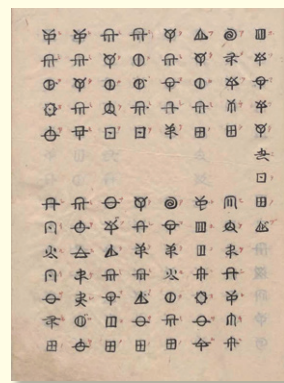
日本民族の祖「天御祖神」の存在

古代文献『ホツマツタエ』には、「アメミヲヤ(天御祖神)の初^{うい}の一息が動き出し、その息は東に登り西に下って、円を描きながら極まることなく巡りつづけた」と記されています。これは、旧約聖書の創世記に通じる記述で、日本にも宇宙や人類を創造した造物主・根本神が存在したことの証左といえます。

幸福の科学の大川隆法総裁は、「天御祖神は、宇宙から三万年前の日本に降臨し、現代日本文明の祖となった」とし、武士道精神をはじめとする高度な教えを説いたことを明らかにしています。また、中国神話に登場する盤古という創造神のルーツは実は天御祖神であったとも明らかにしています。



「ホツマツタエ」
画像出典：国立公文書館



「ホツマツタエ」
内閣文庫本(1843年版本)序文。

天御祖神の精神を学び大和の誇りを取り戻す

大川隆法総裁によれば、天御祖神は日本の精神的ルーツともいべき「礼儀」「礼節」「男女の調和」などを教え、お辞儀や儀式などの作法も日本に根付かせたといえます。また、魂の存在、善悪の価値判断を含む高次元な教えを説き、「武士道」の始まりとしての「魂を穢さない生き方」「利得、私欲を超えた正義の道を選んだ、勇敢な魂の生き方」を教えました。これが平和や調和の心を大事にしながら「神の正義のために戦うべき時は戦う」という「大和の心」を形づくりました。この高い精神性こそ、日本の誇りと言えます。

天御祖神について学ぶ

天御祖神の教え、本当の日本の歴史について学びたい方へ。

『天御祖神の降臨』



大川隆法著
幸福の科学出版刊
1,760円(税込)



『ホツマツタエ』といえる一書。
日本文明は中国や朝鮮から伝わったのではなく、3万年前から始まっていた。日本の本当のルーツが分かる、現代の

『天御祖神 武士道を語る』



大川隆法著
幸福の科学出版刊
1,870円(税込)



日本の「始まりの神」が説いた本物の「武士道精神」を学ぶことで、自分の生き方を見つめ、大和の誇りを取り戻すことができます。

「天御祖神の夢／天御祖神の降臨」



作詞・作曲：大川隆法
歌：大門一也/伊藤純
発売・販売：ARI Production
1,320円(税込)



日本文明の源流に立つ「天御祖神」が明かす、武士道の根本精神。

天御祖神記念館ホームページ



箱根・強羅の地にある天御祖神記念館のホームページです。
天御祖神の教えについて学ぶことができます。

